

令和6年度 外国人医療体制整備事業実績について【令和6年度予算84, 193千円】

1. 体制構築

地域における外国人医療対策協議会設置等事業 予算：371千円

地域における外国人医療対策協議会設置・運営事業

- ・令和6年度第1回大阪府外国人医療対策会議の開催(令和6年10月2日)
- ・令和6年度第2回大阪府外国人医療対策会議の開催(令和7年3月5日)

拠点・地域拠点医療機関連絡調整会議設置・運営事業
・大阪府外国人患者受入れ拠点医療機関連絡調整会議の開催(令和6年7月31日)

2. 実態把握

外国人患者受入れ体制実態調査事業 予算：902千円

外国人患者受入医療機関情報をとりまとめたリストの情報更新

ウェブ掲載医療機関：131医療機関
(令和7年2月14日現在)
⇒令和7年3月末に176医療機関となる見込み

令和6年度大阪府外国人患者受入れ実態調査
・調査期間：R6.11.29～R7.1.8
・調査対象：大阪府内の162医療機関(※)
※R6.11.27時点の受入れ医療機関(128医療機関)
R6.11.27時点の拡充事業の申請機関(34医療機関)

3. 医療機関への支援

- ① 多言語遠隔医療通訳コールセンター設置・運営事業 予算：9,359千円
② 外国人患者受入れワンストップ相談窓口設置・運営事業 予算：6,000千円

① 府内医療機関・薬局における外国人患者の受入れが円滑に進むよう、医療機関・薬局向けに8言語対応の多言語遠隔医療通訳サービスを実施(R6.6～ビデオ通訳開始)

- ・委託事業者：メディフォン株式会社
- ・対応言語：英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タイ語、フランス語(R6.6～)
- ・利用実績：2,728件(令和7年1月末現在)
- ・利用機関数：40機関(令和7年1月末現在)

② 医療機関や薬局等から寄せられる、外国人対応に関する日常的な相談や複雑な課題にも対応できる相談窓口を設置

- ・委託事業者：日本エマージェンシーアシスタンス株式会社
- ・利用実績：22件(令和7年1月末現在)
- ・利用機関数：16機関(令和7年1月末現在)

4. 医療機関の拡充

外国人受入れ医療機関拡充事業 予算：50,000千円

増加する来阪外国人の医療需要に対応するため、医療機関において外国人患者を受入れる環境整備を行うための補助を実施し、外国人患者受入れ医療機関を拡充

○補助対象事業

- ・医療機関における外国人患者受入れに必要な医療通訳を利用するための備品等や多言語対応のデジタルサイネージ等の備品購入に要する費用

○補助基準額

- ・100万円/医療機関1カ所あたり

○1次募集

- ・申請期間：令和6年6月21日から令和6年7月19日まで
- ・申請機関数：34医療機関

○2次募集

- ・申請期間：令和6年10月31日から令和6年11月29日まで
- ・申請機関数：11医療機関

5. 情報発信

- ① 外国人医療体制情報発信事業 予算：1,093千円
② 外国人向け医療情報整備事業 予算：16,468千円

① 医療機関や来阪外国人等を対象に医療情報等の発信を目的とした多言語情報ポータルサイト「おおさかメディカルネット for Foreigners」「おおさかメディカルネット 医療機関・薬局向け外国人患者受入れ支援サイト」について、以下の改修を実施

＜主な改修項目＞

- ・拠点医療機関情報の更新
- ・「おおさかメディカルネット for Foreigners」にサイト対応言語の「医療のかかり方等動画」を掲載

②-1 医療のかかり方等動画を作成

- ・「おおさかメディカルネット for Foreigners」の対応8言語で「日本の医療のかかり方」「感染症・熱中症対策」「海外旅行保険加入勧奨」の3動画を作成(R7.1より順次「おおさかメディカルネットYouTubeチャンネル」で発信)

②-2 「おおさかメディカルネット for Foreigners」の周知資料作成

- ・クレジットカードサイズの周知資料を作成し、以下の関係機関に配架(令和7年3月下旬～)
- ①観光案内所(梅田・新大阪・難波)
- ②関西国際空港内インフォメーションセンター
- ③関西空港駅チケットカウンター
- ④ホテル・旅館のロビー

